

# 中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）  
 発行人 南部 美智代  
 No.197  
 〒101-0052  
 東京都千代田区神田小川町3-8 中北ビル5F  
 Tel. 03-3259-1287 URL <https://www.rofuku.net>



## 今年度も全47加盟労働団体への三者要請を完遂!! —労働組合トップの皆さまと“ともに運動する主体”を再確認—



中央労福協、労金協会、こくみん共済coopの三者要請の様子



三者合同製作のトップ訪問要請ツール

中央労福協・労金運動中央推進会議・こくみん共済coop中央推進会議は、2022年10月より三者共同による47加盟労働団体への訪問要請を実施した。今年度も各労働組合のトップ（三役）との面会をお願いし、労働者自主福祉運動に対して大局的な観点から個別の取組内容まで幅広い意見交換を行った。

中央労福協からは伊藤敏行副会長（フード連合会長）と南部美智代事務局長を筆頭に対応した（次頁見開き：トップの皆さまへの要請書手交シーン）。

三者共通の要請項目として、1. 議案書に「労働者自主福祉運動の強化」に関する運動方針の掲載・補強、労福協・ろうきん・こくみん共済coopとの連携および利用促進、2. 労働者福祉運動の担い手育成に向けた研修会の開催の2点を要請した。全国福祉強化キャンペーンの強化期間中に実施するトップ訪問は3年目の取り組みとして着実に浸透し、多くの団体でトップ（三役）の皆さまに対応頂くことが定着してきた。労働組合は“ともに運動する主体”であることを共有する機会であるとともに、各加盟労働団体の近況報告の場としても機能し、年々労働者自主福祉運動による連帯を強めている。

また、今年度は三者それぞれの個別要請を「トップ訪問要請ツール」として合同作成したことにより、三者の

一体感を強めた要請となり、QRコードの機関紙への掲載や、会議・研修会等での周知徹底、学習会への講師派遣などの成果に結びついている。「トップ訪問要請ツール」は、活動のポイントをQRコードの提示でPRしたことから、意見交換の話題が“今の若者”となり、それぞれの組織が抱える若者への伝え方や世代間ギャップなどが今日的な共通の課題であることを共有することができた。

さらに今年度は中央段階（本部・産別）での取り組みだけに留まらず、地方労福協でも労組訪問の実施を促進したことにより、組合員に近い距離での要請が進み、“ともに運動する主体”の実効力が高まりつつある。

加盟労働団体トップ訪問は、労働組合トップの皆さまとの貴重な対話機会と位置づけ、労働組合の「組織力」と労福協の「つなぐ」役割の相乗効果をさらに高め、継続して“つながる”運動を強めていく。

### No.197 Topics

- 2～3面 加盟労働団体トップ訪問 見開き特集
- 4面 談話「生活保護基準の予算審議にあたって」
- 5面 第27回Web学習会 過去最多173名参加！  
湯浅誠氏「子ども食堂と私たちの地域・社会」
- 6面 「もう悩まないで。奨学金返済Q&A」スマホ版公開



対面訪問 45 団体  
 Web 訪問 1 団体  
 書面要請 1 団体



訪問にご協力頂いた  
 加盟労働団体一覧

- 10月3日 UAゼンセン、全国農団労
- 10月4日 紙ハ連合、損保労連
- 10月11日 自治労、情報労連、日建協、電機連合、労済労連、日教組、運輸労連
- 10月12日 JEC連合、私鉄総連
- 11月1日 ヘルスケア労協
- 11月7日 JP労組、退職者連合
- 11月8日 フード連合
- 11月9日 政労連、全水道、国労、日本医労連、生保労連、全電線
- 11月10日 JAM、メディア労連、ゴム連合、全駐労、連合
- 11月15日 全国ユニオン、労供労連、全国ガス、森林労連
- 11月16日 全農林、全労金、全造幣埼玉事務所、全印刷、全自交労連、全建総連
- 11月18日 交通労連、基幹労連、サービス連合
- 11月24日 自動車総連、JR総連
- 12月22日 電力総連

## 談話「生活保護基準の予算審議にあたって」 大幅な引き上げと、「新たな検証方法」の実現を！

厚生労働省は、5年に1度の生活保護基準の見直しにあたって2023～2024年度については臨時的・特例的措置として引き下げを行わないこと、一律1,000円の加算等を決定した。これを受けて中央労福協は、2023年1月17

日に事務局長談話「生活保護基準の予算審議にあたって」を公表し、大幅な引き上げとその早急な実施、「新たな検証方法」の確立などを求めた。以下、談話全文を掲載する。

2023年1月17日

### 生活保護基準の予算審議にあたって（談話）

労働者福祉中央協議会  
事務局長 南部 美智代

1. 5年に1度の生活保護基準の改定について、厚生労働省は2年間の臨時的・特例的措置として、75歳以上の高齢者世帯を中心に検討されていた引き下げの見送りや、月額1,000円を加算すること、その加算後も減額となる世帯については現行の基準額を保障することを決定した。2013年から連続して引き下げが行われてきた中で、今回引き下げを見送るのは当然である。加えて現下の物価高騰を適切に評価すれば、本来は大幅な引き上げを早急に実現するべきである。
2. 今回の生活保護基準部会（以下、部会）で行われた検証にあたっては、物価上昇前である2019年の全国家計構造調査が用いられている。現在の経済情勢等を踏まえた結果として、部会の検証結果から算出された金額にひとりあたり月額1,000円が加算されているが、現下の物価高騰を考慮すれば、あまりに不十分な金額である。急激な物価高騰に対応するための措置については、本年10月の施行を待たず可及的速やかに適切に引き上げを行うべきである。
3. 検証方法は、相変わらず下位10%の低所得者層の消費水準と生活保護基準を比較する方法が採用されている。この方法では生活保護の捕捉率が2割程度といわれているわが国において、下位10%の低所得者層に生活保護基準未滿で暮らしている世帯が含まれていることから、最低生活ラインを際限なく引き下げていく「貧困のスパイラル」に陥り、社会の底割れを招きかねない。今回、この手法による試算でも最低限2%の増額が必要であり、検証方法を見直していれば、なお一層の増額が見込まれたはずである。部会においても新たな検証方法の開発が課題とされており、早急に「新たな検証方法」を確立し、それまでは現行の基準を引き下げないように求める。
4. 中央労福協は、これまで生活保護制度の改善や生活保護基準の引き下げ撤回にむけて国や自治体への要請行動や他団体、市民団体等と連携し対応してきた。引き続き、生活保護が真に「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するよう取り組んでいく。1月23日に開会が予定されている第211回通常国会での審議にあたっては、基準検証では反映できなかった現在の物価高騰分を反映した生活保護費の引き上げについて予算の修正を行うよう強く期待したい。

## 芳野友子会長 Web 学習会でビデオメッセージ — ポストコロナ社会見据え取り組み進めよう。



労働者福祉中央協議会 芳野友子会長

第27回 Web 学習会の冒頭で中央労福協・芳野友子会長が、新しい年を迎えたことを祝してビデオメッセージによる新年挨拶を行った。芳野会長は「中央労福協は給付型奨学金の中間層への拡大と返済困難者への支援に向け取り組めます。また、様々な課題への対応に迫られている今、ポストコロナ社会を見据えた運動をさらに進め、『2030年ビジョン』の実現に向けて取り組みを進めていきましょう」と参加者らに呼びかけた。

## 第27回 Web 学習会「こども食堂と私たちの地域・社会」 ひとつでも多くの居場所を持つことが重要

中央労福協は1月18日、NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長（社会活動家・東京大学特任教授）の湯浅誠氏を講師に迎え、「こども食堂と私たちの地域・社会」をテーマに第27回 Web 学習会を開催、過去最高の173名が参加した。

講演では、子ども食堂が広がってきた社会背景や地域の居場所としての意義、貧困対策としての支援などについて学んだ。

現在、子ども食堂は全国で7,000箇所を超えている。近年では毎年およそ1,000箇所のペースで増加しており、特に地方での広がりが大きい。子ども食堂を通じて、人と人とのつながりを実感できる地域づくりのため、地域の人たちが立ち上げ取り組んでいる。湯浅氏は、「子ども食堂は貧困家庭の子どもだけが来る場所ではなく、子どもを真ん中に置いた多世代交流の地域の居場所」と話す。地域の誰もが参加できるようにし、その中で課題のある子どもを拾い上げていくのも大きな役割だという。

また子ども食堂は「第3の居場所」と語られることが



多いが決して「家庭にも学校にも居場所がない子のためだけの場所」ではなく人は一つでも多くの「居場所」を持っていることが重要で、これは大人も同じだと強調した。

最後の質疑応答では、フードバンクとのつながりの事例や貧困の連鎖についてなど、様々な質問や意見が挙がった。

### 次回予告

### シリーズ 地球 環境

第28回 2月6日（月）13:30-15:00

気候変動に世界はどう立ち向かうのか  
～COP27 in Egyptの解説とこれから

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 IGES  
藤野 純一 氏

第29回 3月9日（木）13:30-15:00

気象予報士が解説する気候変動と気象災害  
～私たちはどう立ち向かい、どう備えるか～

オフィス気象キャスター株式会社  
岩谷 忠幸 氏

# 「もう悩まないで。奨学金返済Q&A」 スマートフォン版をリリースしました！

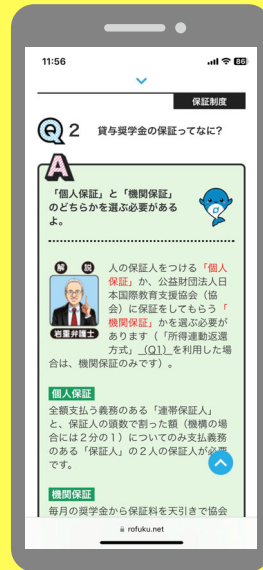
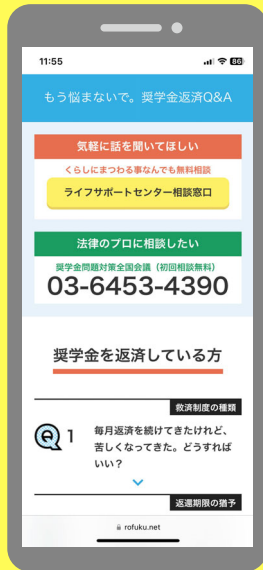
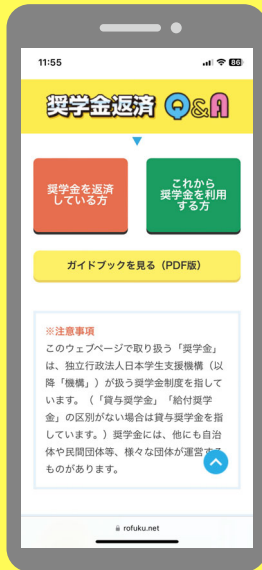
スマートフォン版オープン！

もう悩まないで！  
**奨学金返済 Q&A**

返済に困っているあなたへ  
**法律のプロがよりそって解説します**



これまでインターネット上での本ガイドブックの閲覧はPDFファイル形式となっておりますが、このたびスマートフォンでの閲覧に最適化した形でリニューアル致しました。右下に記載のQRコードからご覧いただけますのでぜひご活用下さい。相談先窓口の一覧も表示しておりますので、現在奨学金返済にお困りの方もぜひご利用ください。



詳しくはコチラをご覧ください！

第13回 連合・ILEC  
**幸せさがし文化展**

作品募集 絵画 写真 書道 俳句 川柳

募集期間  
●俳句・川柳・写真(データ応募) 2023年2月1日(水)~5月29日(月)  
●絵画・書道・写真(プリント応募) 2023年4月1日(土)~5月29日(月)

作品募集 どなたでも応募できます! 出品料ありません。

◆絵画・写真・書道の部  
連合大賞・ILEC大賞 各10万円ほか  
シニア(80才以上)、ジュニア(15才以下)

◆俳句・川柳の部  
連合大賞・ILEC大賞 各5万円ほか

詳細はWEBサイトへ  
幸せさがし文化展 検索





展覧会 | 2023年10月東京芸術劇場ギャラリー(入場無料)